



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,535 世帯
人口 10,873 人
男 5,468 人
女 5,405 人
(令和元.9.1 現在)

笹賀おやこクラブ&ひよこ祭り 夏祭り大盛況

笹賀おやこクラブ代表

川崎 英里

8月27日、笹賀地区福祉ひろばに子ども達の楽しい声が溢れました。この日、「笹賀おやこクラブ」と福祉ひろばの「ひよこ」合同の夏祭りを開催しました。

笹賀おやこクラブは、25年以上笹賀地区で活動している未就園児とお母さん達によるサークルです。有志のお母さん達がスタッフとなり企画・運営し、笹賀地区福祉ひろばを活動拠点に今年度は2か月に1度のペースで活動を行っています。

ここ数年夏の恒例活動となっている夏祭りですが、今年はいよいよ合同で開催することになりました。

ひよこは0〜1歳児、笹賀おやこクラブは未就園児対象です。小さいお子さんでも楽

しめるように工夫しました。流しそうめんでは台を低めに設置し、流す水の速さも小さい子が取れるようにゆっくりに



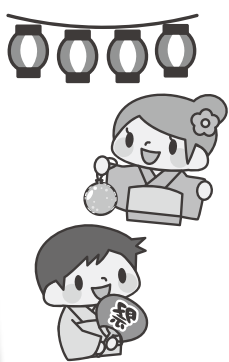
調整。ヨーヨー釣りでは割りばしにクリップを付けて簡単に取れるように。他にも、紙の魚にクリップを付け磁石がついた竿で釣り上げる魚釣り、ペットボトルボーリング、おもちゃ引き、破れないポイで挑戦するおもちゃすくいなど、複数のブースを用意しました。

当日は47組106人(内、子どもが59人)の参加があり、夏祭りは大盛況となりました。スタッフは準備などの苦労もありましたが、参加してくれたお母さんやお母さん達が楽しむ姿に、頑張つて良かったなあという気持ちでいっぱいになりました。

笹賀おやこクラブのスタッフは未就園児を持つお母さん達が大半です。スタッフだけでは

限られてしまう活動も、福祉ひろばや公民館、地域のたくさんの方々の協力を得て、より楽しい活動を行うことができている。夏祭りには、地域づくり協議会をはじめ、大勢の方にお手伝いに来ていただきました。おかげさまでスタッフも親子で活動を楽しむことができている。本当に感謝しております。

このように、地域の皆様に支えられ、笹賀おやこクラブは長く続けられています。「お子さんと、お母さんも楽しめる」をモットーに、スタッフも楽しみながら活動をしています。参加は笹賀地区には限定していませんので気軽に参加ください。活動内容や予定など、詳



細はブログで随時お知らせしていますのでそちらもご確認ください。



笹賀おやこクラブの活動を一緒に企画・運営してくれる **スタッフも募集中**です。

【問い合わせ】
mail : sasagaoyakoclub@gmail.com
Tel : 090-5677-0829 (川崎)

ブログは で、検索♪

活動紹介 菅野町会
「ゆうゆうカフェ」
1年を振り返って

昨年6月、松本市が進める居場所づくり事業の「支え合い活動事業推進交付金制度」を活用し、菅野町に「すがのゆうゆうカフェ」を設立しました。居場所が出来、会話することにより町内の融和が進むとともに支え合いの精神が深まり「住みやすい街づくり」に繋がればとの思いからカフェを始めました。

開店当初は、周知不足もあり、参加者19人での出発でしたが、世話人会議での意見交換や町内全戸アンケート調査実施や各種イベントを織り込んだところ、徐々に参加者数が増え、最多39人を数えるところまでになりました。



特に留意したことは、出入り自由の雰囲気作りで、「陶芸を楽しもう」「赤飯の上手な炊き方を学ぼう」「餅つき大会」「まゆだまづくり」は大変好評で、みんな笑顔で楽しんでいました。子どもの参加者も予想外に多く、子どもの居場所づくりにも繋がることも期待しています。

2年目を迎え、既に4回開催しており、特に盛り上がったイベントは、5月に実施した「男の料理教室」で、前年に笹賀公民館事業の「男の料理教室」で講習を受けた4人が中心になって作った「手作りの料理」を22人の参加者が堪能しました。

日頃同じ町会に住んでいても名前と顔が致しない方が多いのが現状で、当カフェが住民の方々の「顔が見える関係」を作り、町内の融和に繋がり、支え合い

活動にも役立つことを願っています。

今後は、さらに多くの方が参加しやすい環境づくりと、近隣の他町会の方々も気軽に顔を出して頂けるような企画や運営方法も検討していきたいと考えています。

寄稿 杉山 康宏



スポーツ大会結果

◆西南フロッグ球技大会

○軟式野球の部

- 優勝 今井
- 準優勝 神林
- 棄権 笹賀

○バレーボールの部

- 優勝 笹賀
- 準優勝 今井
- 第3位 神林

バレーボールの部で11月3日に開催される市長杯争奪球技大会への出場を決めました。応援よろしくお願いします。

編集委員の
夏休み自由研究



テーマ
 いま、夏休みのラジオ体操はどうなっているの？

きっかけ

最近の夏休みのラジオ体操は、数日しか行っていないという話を聞きました。昔は夏休みのほとんどの日に行っていたのか？各町会の現状を調べてみよう。

方法

笹賀地区14町会にアンケート調査を行いました。ラジオ体操の開催期間はどのくらい？今も参加者にハンコを押しているの？参加者に景品はあげているの？等について質問してみました。

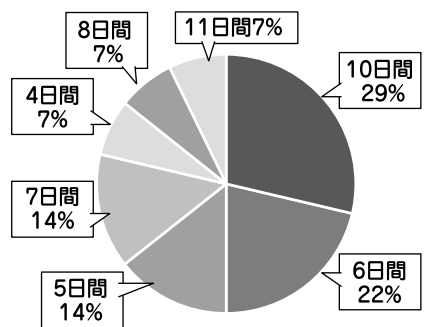
結果

最も多い開催日数は、11日間でした。開催日数を平均すると7.5日間でした。

参加した子どもにハンコやスタンプを押している町会は今町会、景品をあげている町会は9町会でした。景品は主にえんぴつや消しゴム、お菓子や飲み物、図書カード等でした。盆踊りの時のくじ引き券を用意したり、景品に6年生からのメッセージを添えている町会、

ラジオ体操の前に大縄跳びをしている町会もあるそうです。

ラジオ体操の開催日数



まとめ・感想

ラジオ体操について、長期休みのなかで生活リズムを整えるのに良いという意見や、大人の参加がなかなかできないため、盛り上がり欠けるといった意見もありました。なぜ、夏休みにみんなでラジオ体操をするのか、その意義をあらためて考える必要があるのかもしれない。

早起きは大変だったけれど、ラジオ体操は楽しかった思い出です。これからの子どもたちにも、そんな思い出をつくる機会が続いてほしいと思います。

最後に

調査に協力いただいた各町会の皆さま、本当にありがとうございました。